

2020 年 12 月 26 日

ほしぞらサロン 2020 年 11 月議事録

文責：石橋 愛理

日 時： 2020 年 11 月 28 日（土）19:00～21:00

場 所： ユリックス第 3 会議室

参加者： 高木, 宮田

（50 音順、敬称略）

職 員： 小野田, 角田, 石橋, 阪本

計 6 名

1. 12 月 20 日（日）「木星・土星大接近ウォッチングについて」

12 月 21 日に、木星と土星が満月の見かけの直径の約 4 分の 1（約 7 分角）まで接近する。その前日の日没後 18 時～19 時のあいだ、観望会を行う。実施にあたり、これまでのサロンで話し合いを行ってきた。

=====当日の予定=====

●12 月 20 日（日）18:00～19:00 天体観望《場所；風の丘・芝生広場側》

※雨天時、天体が見えない場合は、18:00 からプラネタリウム解説のみ実施。整理券を 17:30 より先着 80 人に配布する。

●観望対象： 木星・土星（同一視野）

●使用予定機材（優先順）： タカハシ（3 台）・ビクセン屈折（3 台）・ビクセン反射（1 台）
・レンズ結露予防のヒーターを使用する（6 台あり）。

観望会当日は、日没が 17:13（宗像）である。天体が導入でき次第、早めに見てもらいたい。

=====

※感染予防対策を講じながらの観望会となり、1 台の望遠鏡に 2 人は人員が必要となります。

できるだけ多くのボランティアの参加をよろしくお願いします。

※今後、感染症の拡大状況によって観望会自体が中止となる可能性もあります。

（観望にあたり準備物や確認事項）

- ・紙コップ：500 個程度準備する。今回も感染症対策として紙コップ越しに観望してもらう。
- ・観望予定の場所（風の丘）には照明がある。ダンボールなどで隠したい。
- ・12 月 19 日（土）の工作教室後、下見・リハーサルをしたい。
- ・使い捨てカイロを当日参加のボランティアへ配布。

（木星と土星以外の天体も見せるか）

当日は、火星（-0.5 等）、月（月齢 6.7）も見やすそうだ。来場者が少なく時間に余裕がある場

合、木星と土星が沈んだ後に見せるか。また、曇っていて木星や土星が見えなかった場合にも、来場者に火星や月を見せるか。

角田： 来場者が少ない場合には、月や火星をおまけで見てもらうことも出来そうだが。

宮田： 観望後も残っていたらいいことがある、と来場者が勘違いし、だらだらと観望会が長引いてしまう可能性もある。こちらも親切心から他の天体も見せたくなくなってしまうが、来場者が少ない場合でも観望天体（木星・土星）だけで充分ではないか。

-->基本的に、観望対象は木星と土星のみとする。曇っていて、木星・土星が見えない場合だけ月や火星を観望したい。ただし、終了予定時刻の 19 時には終了とし、延長はしない。

-->来場者が長時間滞留しないよう、屋外での星空解説は行わない予定。

（観望場所や来場者の誘導・動線について）

風の丘に望遠鏡を配置し、アクアドーム側の並木道に沿って列を作る。列は一行とし、列の先頭で空いた望遠鏡へ次々と案内する（フォーク式）。列の先頭・最後尾にはスタッフが必要。

さらに、望遠鏡やその操作者に番号の札をつけてもらうなどして、来場者が分かりやすいようにするほか、風の丘にある池への転落防止のためにルミカライトを周辺に配置したい。

（観望会当日の YouTube 中継、スクリーン設置場所について）

この度、YouTube 中継などで使用する望遠鏡をエムワイピーで購入した。今回、その望遠鏡を利用して映像を配信する予定である。さらに、その映像を来場者向けにスクリーンへ映し出したい。

宮田： 観望会の間は、中継に 1 人は付きっきりになる必要があるのか？それとも、中継中は放置できるものなのか。人員をできるだけ確保したい。また、来場者用のスクリーンはどこに配置するか。

角田： 一度アライメントを取れば、昼間であってもその後は自動追尾ができる。当日は早めに準備をしておき、一度天体を導入しておけば中継に付きっきりになる必要はないだろう。スクリーン設置位置は、アクアドーム側の並木道のあたりはどうか。前日の下見で、スクリーンの場所を決めたい。

-->中継で使用する望遠鏡には、早めに対象天体を導入しておき、可能な限り YouTube の中継に手がかからないようにする。

-->スクリーンの位置は、アクアドーム側の並木道周辺で検討している。前日下見で詳しい場所を決定したい。

-->観望の列に並んでいる間、YouTube 中継を自身の携帯等で見てもらうのも良いのではないかと案も出た。

2. 望遠鏡工作教室の開催について

12 月末の木星と土星の大接近にともない、小学 4～6 年生を対象とした望遠鏡の工作講座を

開催する。1 回目は 11 月 28 日(土)に終了しており、次回 12 月 19 日(土)15:00～18:00 開催予定。都合のつく方はぜひ参加をお願いします。上述の通り、工作講座後に木星・土星ウォッチングの下見を行う予定。

3. 2021 年の年間計画・ウォッチング日程について

2021 年のウォッチング日程についての話し合いを行った。なお、感染症の感染拡大防止の観点から、2021 年度のほしぞらウォッチングスタンプカードは実施しない予定。

以下、ウォッチング日程の候補日である。

6 月 19 日(土) 太陽ウォッチング

8 月 7 日(土)・11 日(月・祝)・21 日(土)のいずれか

夏の星空(恒星)ウォッチング

9 月 18 日(土)・20 日(月・祝)のどちらか

中秋の名月ウォッチング

10 月 30 日(土)

惑星(金星・木星・土星)ウォッチング

上記の日程は候補日であり、未確定です。来月(12 月)のサロンなどで話し合い、日程調整をしていきます。

角田： 来年は、6 月 21 日(月)が夏至の日である。例年、夏至近くにウォッチングを行っているが月曜は休館となるので、ひとまず 6 月 19 日(土)に太陽ウォッチングとするのはどうか。他に何か天文現象などがあれば良いが。

宮田： 夏にペルセウス座流星群の流星ウォッチングを行うのはどうか。

角田： 2015 年などに流星ウォッチングをした事例はあるが、夜遅くになってしまう懸念がある。

夏のウォッチングは、オリンピック時期は避けたい。夏の星空観望ということで月遅れ七夕の 8 月 7 日(土)、または 8 月 11 日(土)、21 日(土)などかどうか。また、中秋の名月が 2021 年は 9 月 21 日(火)のため、その前後の 9 月 18 日(土)・20 日(月・祝)なども候補になりそう。

宮田： 10 月 30 日(土)には金星(-4.4 等)が東方最大離隔を迎える。さらに同日には木星・土星の惑星ウォッチングもできそう。

4. 今年のクリスマス子ども番組におけるサンタの出迎えと見送りについて

例年、クリスマス時期にはボランティアによるサンタ仮装の出迎えや見送りを行っている。今年は感染症が流行しているが、例年通り子ども番組の出迎えなどを行うか。

角田：

例年通りクリスマスの見送り等を行うと、事務所に多くの人が集まることになる。ボランティア待機用の場所を準備するなどという手もあるが、今年に限ってはイベント開催日の12月19日（土）と20日（日）と26日（土）のみ、ボランティアによるサンタ仮装での出迎えと見送りを行うことにする。それ以外の日は中止とする。

次回のサロンは12月26日（土）です。

（ドームイベントの時間と重複するため、次回サロンの開始時刻は19時からとなります。

18時からはツリーの片付けを予定しています。ご協力お願いします。）